

令和8年千葉連続風水害からの復旧・復興と災害に強い千葉県づくりに向けた基本方針（概要）

— 都市型水害と広域インフラ災害の教訓を未来につなぐ —

8月千葉豪雨での短時間の集中豪雨に続き、9月の台風第25号では、県内多数の地域で観測史上最大の降雨となり、河川氾濫や広範囲の土砂崩れ、道路・鉄道の寸断、停電・断水など、半島地形・社会経済基盤の脆弱性が再認識されました。今般、連続する2つの災害の教訓を、未来の千葉県へ活かすため、8月豪雨の「都市型水害に強い千葉県づくりビジョン」を踏まえ、「千葉連続風水害からの復旧・復興と災害に強い千葉県づくりに向けた基本方針」をとりまとめました。この方針に従い、被災された方々の生活となりわいの再建と、被災施設の早期復旧に全力を挙げるとともに、有識者会議で議論を深め、強靱な千葉県づくりと都市型水害対策を一体的に推進し、より災害に強い千葉県を目指します。

千葉連続風水害 気象概要

8月千葉豪雨	8月13日夕方以降、線状降水帯が3回発生し、記録的短時間大雨情報が発せられるなど、1時間に100ミリを超える猛烈な雨が各地で相次いだ。特に千葉市では、平年の8月の総降水量の3倍以上となる360ミリを超える降水量を24時間で観測し、観測史上1位を更新した。（短時間集中型）
台風第25号	9月20日から21日にかけて、台風第25号の影響により長時間にわたって強い雨が降り続き、各地で記録的な大雨となった。県内18観測所のうち14観測所で48時間降水量が観測史上最大を記録し、特に君津市坂畑では48時間降水量551ミリ、大多喜町では489ミリを観測するなど、広範囲で記録的な降雨となった。（長時間継続型）

<被害状況>		※10/15時点 8月千葉豪雨	※10/16時点 台風第25号
		13人	10人
人的被害	死者		
住家被害	全壊/半壊	18棟/3489棟	103棟/642棟
	一部破損	362棟	654棟
住家被害	床上浸水/床下浸水	1096棟/3813棟	449棟/1097棟

8月千葉豪雨での事象

1. 内水浸水が各地で同時多発的に発生
2. 下水道施設の浸水やマンホールの損傷等が発生
3. アンダーパスや低地等での道路冠水により、人的被害・車両水没が多数発生
4. 路上に存置された被災車両による渋滞・事故が発生
5. 道路と鉄道の同時被災により広域的な移動が制約
6. 公共交通機関の運転見合わせに伴う帰宅困難者が発生
7. 自助に資する適切な防災情報の重要性を再認識
8. 水害に関する自助・共助の必要性を再認識
9. 医療機関・社会福祉施設への影響
10. 水道等ライフライン施設への影響
11. マンションの地下設備浸水が生活機能に影響



9月台風第25号での事象

1. 住宅の浸水・損壊、農林水産業や中小企業者等への被害が広範囲に発生
2. 河川・道路・鉄道等が同時多発的に被災し、復旧が長期化
3. 同時多発的な被災に対し、国・県・市町村・事業者等が連携して応急復旧を実施
4. JR内房線と並行する県道が同時に被災し、代替交通の確保が難航。県内各地でも道路が寸断
5. 広範囲で大規模な土砂崩れが発生。
6. 印旛沼周辺で堤防決壊・浸水被害が発生
7. 記録的豪雨により河川・排水施設の対応能力が逼迫し、既存施設の運用や能力強化が課題に
8. 道路崩壊や施設被災に伴い、最大約58,000軒が停電、約4,400戸が断水
9. 鉄道の運休、道路の通行止めで通勤・通学等に影響。幹線道路の寸断はサプライチェーンにも影響
10. 道路寸断や停電・断水により、孤立集落が発生したほか、医療・福祉サービスの継続にも重大な支障が発生
11. 長期にわたる降雨で地盤が緩んだ中での台風襲来により、急激な浸水や土砂崩れによる 人的被害が発生、さらに交通障害や停電・断水等が重なり、被害が広域化・深刻化

基本方針

緊急的対応

- 1.被災者の生活・なりわいの再建
- 2.公共土木施設の早期復旧

重点方針

- 3.迅速な災害対応・復旧体制の構築
- 4.房総半島の交通ネットワークの強靱化
- 5.土砂災害・危険斜面对策の強化
- 6.印旛沼流域などの抜本的治水対策
- 7.既存治水施設の能力の最大活用と更なる強化
- 8.インフラ事業者との連携体制の強化・ライフラインの強靱化
- 9.災害時の移動・物流・地域経済活動の維持
- 10.孤立集落対策の強化と医療福祉機能の継続確保
- 11.防災情報の発信強化と自助・共助の促進

12.都市型水害対策の具体化

内水・外水対策・貯留機能強化 流域治水の深化
下水道施設対策の充実
アンダーパス・道路冠水対策の強化
水没車両対応の円滑化
帰宅困難者対策の向上
マンションの浸水対策

新たな段階の都市型水害の脅威が顕在化

3つの視点（「都市型水害に強い千葉県づくり」ビジョン）

- ①「防ぐ」＋「備える」・「しのぐ」・「早く戻す」へ
- ②「避難する・させる」から「危険空間に入らない・入らせない」へ
- ③「市町村ごとの防災」から「流域・交通ネットワーク単位の防災」へ

土砂災害、交通網の長期寸断、停電・断水など、 半島地形・社会経済基盤の脆弱性

3つの課題

- I 被災から速やかに「立ち直る」
- II 寸断された地域・交通・ライフラインを「つなぐ」
- III 次の災害に備え、千葉県を「強くする」